

専門ゼミA		演習	教授 大西 一成	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目		科目ナンバリング	21300301

### 1. テーマ

国内外の経済、ビジネスにおける深い考察力の修得を目指す。本ゼミでは、ゼミ生自身の問題意識に基づいたテーマを設定し論文を完成させる力の涵養を中心テーマとする。

### 2. ゼミのねらい・概要

本ゼミでは、身近なテーマから国際社会が直面する様々な通商問題や環境問題、さらには企業の海外進出などに関する分野を中心に問題を発見し、そのなかから自らのテーマを抽出して論文にまとめ上げていくことをゼミのねらいとする。より具体的には、少子高齢化問題、地域活性化問題、年金や介護など社会保障問題等を取り上げる。また国際社会に関するテーマとしては、自由貿易協定や関税政策にみる通商問題、海外進出企業の投資戦略等を取り上げる。特に前期においては、基礎理論や研究方法はもとより論文作成指導を重点的に行う。またプレゼンテーションを通じて、相互に意見交換や質疑応答を行う力の向上も目指す。後期はもとより4年次における卒業研究に向けた基礎力を築くことが前期における大きな目標である。ゼミ生自身の問題意識に基づいて自らの研究課題に取り組むことを重視する。

### 3. ゼミ計画

1. 前期における研究・発表等、ゼミの進め方について	9. 中間発表（経済テーマグループ）
2. 基本的な論文作成技法について	10. 中間発表（ビジネステーマグループ）
3. 研究テーマ設定に向けた討論	11. 論文完成に向けた指導及びディスカッション
4. 研究テーマ発表の準備	12. 論文完成に向けた指導及びディスカッション
5. 研究テーマ発表と課題整理	13. 論文最終発表（経済テーマグループ）
6. 研究テーマに関する論文作成準備と再検討	14. 論文最終発表（ビジネステーマグループ）
7. 論文作成と添削指導（経済テーマグループ）	15. 前期の総括と夏休み及び後期の学習計画について
8. 論文作成と添削指導（ビジネステーマグループ）	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミにおける予習・復習に必要な時間は概ね週に2～3時間であろう。こうした予習・復習には論文作成はもとより、プレゼンテーションやディスカッションのための準備、調査等も含まれる。より具体的な内容については適宜指示する。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

論文の添削指導及び返却はもとより中間・最終発表等において適宜指示する。

### 6. ゼミにおける学修の到達目標

到達目標は論文作成および発表能力にある。最終目標は、4年次における卒業成果物を作成する基礎力の修得にある。

### 7. 成績評価の方法・基準

ディスカッション、中間・最終発表等によるゼミへの参加度（30%）、論文の内容（70%）によって判断する。

### 8. テキスト・参考文献

各ゼミ生のテーマごとに文献選定のための指導を行う。またゼミ全体でも参考となる論文・論説等も適宜配布する。

### 9. 受講上の留意事項

文献やデータによる研究のみならず、夏休み等を利用したフィールドワークなど幅広い調査研究活動を求めたい。

### 10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。金融機関における実務経験を活かして指導する。

### 11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。